

## 中国における「池田研究」の動向（8）

高 橋 強

### 1. 池田思想研究の学術シンポジウム等

#### (1) 「第5回池田大作平和思想研究フォーラム」

中国文化大学（台湾）は、2011年3月2日、「平和・文化・教育—人道主義の新たな価値の構築」と題し、フォーラムを開催した。全体会で1名、分科会で12名の計6大学の13名の学者が論文を発表した。参加者は約400名を数えた。

全体会で基調報告をした文化大学の張鏡湖理事長は、池田大作博士（以下、敬称略）とトインビー博士の対談集『21世紀への対話』、ゴルバチョフ元ソ連大統領との対談集『20世紀の精神の教訓』について言及し、その中で、トインビー対談が“21世紀における平和の発展には東洋の哲学が必要である”との透徹した結論を導き出している点と、ゴルバチョフ対談が“20世紀の最も重要な世界の発展の軌跡”を記している点を強調し、高く評価をした。

発表された論文は、以下の通りである（発表順）。

#### <分科会Ⅰ>

「池田大作の人道の世紀における新価値観の探求」劉焜輝（中国文化大学）

「対話、寛容から共存、共生へ—文明の選択」王吉林（中国文化大学）

「風光華岡の情」劉広英（中国文化大学）

#### <分科会Ⅱ>

「池田大作の人道の世紀に向かっの教育観」林彩梅（中国文化大学）

「文化的差異との対話と解明—儒家を中心として」吳進安（雲林科技大学）

「『天文学と仏法』を評する」陳鵬仁（中国文化大学）

#### <分科会Ⅲ>

「平和文化的経営理念と販路管理関係の研究」林瑞山（經濟部工業局）

「『教育と文化の王道』—一人々を啓発する愛と善」林月雲（華梵大学）

「池田大作平和思想から教育と教学を論ず」黃大璋（万能科技大学）

<分科会Ⅳ>

「池田大作の人間主義思想から中国の人を以て本とする社会の発展を論ず」

唐彦博（育達商業科技大学）

『天文学と仏法』にみる人道的価値」李彦良（中国文化大学）

『21世紀の平和と宗教』を読んで」周建亨（中国文化大学）

今シンポジウムでは、論文「池田大作の人道の世紀における新価値観の探求」が貴重な問題提起をしている。同論文においては、池田が構築した新しい価値として、人間革命、価値創造の信念、対話の哲学の確立、生命尊厳の重視、女性の役割の肯定、児童の幸福の保障等を指摘している。これ以外の価値として、「対話」に言及した論文が2編あった。さらには「人道的価値」に探求した論文、また「平和」「文化」「教育」的価値の側面からの論文もあり、多面的な議論がなされている。

(2) 「池田大作思想研究サミット」

創価大学は2011年11月4、5日、北京市内で、「人間主義のルネサンス—池田研究の成果と展望」と題し「池田大作思想研究サミット」を開催した。これには25大学から代表30名が参加し、活発な議論を交わした。4つのセッション「人間主義」「教育主義」「文化主義」「平和主義」を設け、全体会議方式で進められた。

池田思想研究に従事してきた各学者が、その意義や成果等について発表し、それについて種々の視点より議論した。以下、議論に参加した筆者の感想である。

多くの学者が注目しているのは、「人間革命思想」であろう。その思想に包括される、①人間と人間、自然、宇宙との調和、②物質と精神の統一、③自他共の幸福、共存意識、④自己の可能性への自覚、自発能動的な自己完成の追求への探求が多い。

またこの人間革命を通して、①人間性の復興、②調和社会構築、③平和共生社会の構築、④新たな人道主義の構築、④自然との調和共生という新自然主義の構築を試みている。

池田思想の該博さと深淵さは、多くの学者の一致した認識である。各学者に幅広い視野を与え、異なった専門領域との相互研究交流を可能にしている点に、魅力を見出している。ある学者は、同思想の該博さ深淵さに加えて、強い理論性と一貫性を見出している。そしてその背景には、「生命」に対する深い認識があると見ている。

生命観への探求も多い。ある学者は、その生命観の特色として、①縁起思想からの生命の永遠性、②個人の生命と宇宙生命の一体、③「死」への自覚を上げている。またある学者は、①生命の絶対的尊厳性、②生命の動態性、変革性を上げている。これらの特色に立脚して、「生命の尊厳」「生命の価値」を創造する新人間主義構築も提案された。

池田思想に見られる人間主義の主要な価値として、慈悲、仁、人類に対する普遍的愛あるいは人類愛、世界愛が上げられている。

池田の対話を通じた世界平和構築の努力を高く評価し、平和思想への関心が高い。ある学者は、その原点として、①生命至上主義、②宇宙生命論、③天人合一論を見出し、ある学者は、その根本理念として、①生命尊厳、②自然に対する総体的理解、③依正不二の原理を探究している。またある学者は、慈悲と寛容からなる「絶対的平和主義」と「文化対話主義」からの平和論に、ある学者は、人間の尊厳を脅かす社会構造を根本的に変革する「積極的平和主義」、さらに世界市民育成を通しての人類の普遍的融合の視点等に注目している。

「人間革命思想」との視点からの探求もあった。即ち、人間の心の内面の変革から出発し、一人一人が身の回りから平和を作りあげて行くという、一人一人の幸福と社会の平和を結び付けている。そしてそこでは世界の平和を目指し民間交流、文化交流を重視している。

世界平和構築の一環として、日中友好促進への評価も極めて高い。池田の品格は、中日の青年は学ぶべきで、それを通して世々代々の友好が実現できる、との認識で一致した。また池田がこれまで日中友好の為に発表してきた多くの「提言」（例えば68年日中国交正常化提言）は、未来への中日友好の指導理念であり、中日両国民が相互に理解し、相互に学び合いかつ向上するのに有利である、との主張が相次いだ。

世界平和を推進する過程で、新しい文明構築への期待も高く、池田の文明観・論に注目が集まっている。特に、天人合一思想や人間主義思想を通して、新文明の実現を目指そうとする視点、また文明間対話や対話力をもって東西文明の融合を目指そうとする視点を論じた内容が目立った。なお融合を促進する上で、池田の指摘する「文化」の持つ「結合力」、調和のとれた共生思想にも注目が集まった。

新しい文明、また世界平和構築の為に、それを実現して行く人材の育成も重要となってくる。池田の取り組んで来た創価教育、特に世界市民教育に大きな関心が向けられている。ある学者はそれを構成する要素として、①生命の尊厳、②平和と公平と平等を自己の使命とする点を、またある学者は、①智慧、②勇気、③慈悲を、さらにある学者は、①人道主義、②平和主義をあげている。もちろんこれらは、創価教育の最終目標である、健全な人格、調和のとれた人間育成、個性の開発、人間性開発と発揚に基づいたものであることは論を俟たない。この点もある学者の指摘である。

### (3) 「青年と21世紀平和友好“金の橋”」研究フォーラム

南開大学「周恩来・池田大作研究会」は、2011年12月3日、同会発足5周年記念行事として研

究フォーラムを開催し、これには同大学・李康党書記、陳平・思想教育学院院長をはじめ教職員、遼寧師範大学「池田大作平和文化研究所」の崔学森副所長および中国留学中の本学学生等、約80名が参加した。

崔副所長より「人間革命の新たな視点」との基調講演がなされた後、日中の学生代表5名による学術報告がなされた。

発表論文は以下の通りである。

「周恩来・池田大作研究会の交流と公共空間」温家坤（南開大学）

「積極的心理学から見る池田先生の幸福観」陸陽（南開大学）

「周恩来の日本欧州留学」賈凱（南開大学）

「池田大作先生と孔子の人間主義教育観」大西美香（創価大学）

「梁啓超と牧口常三郎先生の女子教育思想」佐川慶子（創価大学）

#### (4) 「池田大作思想と中国伝統文化との関係研究」学術シンポジウム

嘉応学院・池田大作文化哲学研究所は、2012年1月10日、同学院にて上記学術シンポジウムを開催した。発表された論文は9編であった。

以下、論文テーマを紹介する。

「池田大作の『中国の人間主義の伝統』に対する理解と応用」林振武（嘉応学院）

「池田大作の平和理念と荘子の世界観・相契合を論ず」徐春根（嘉応学院）

「墨家の池田大作思想に対する影響」顧麗華（嘉応学院）

「中国伝統儒道倫理と池田大作の哲学」施保国（嘉応学院）

「池田大作の天台観を論ず」陳紅旗（嘉応学院）

「池田大作の科技哲学思想」沈健（嘉応学院）

「人間とは何か、人間はどうあるべきか—池田大作思想における人間の本質と人の道」張福如（嘉応学院）

「池田大作の女性観と中国伝統文化との関係」王夏冰（安陽工学院）

「池田大作の“善”の観念に対する解説」李 聡（嘉応学院）

#### (5) 「講演会」等

・「池田SGI会長と共に歩んだ35年の翻訳人生」

バートン・ワトソン博士（コロンビア大学元教授）

西安培華学院「池田大作・香峯子研究センター」主催（2011年10月）

- ・「池田大作の調和管理思想について」  
陳曉春教授（湖南大学・池田大作研究センター所長）  
創価大学にて（2011年12月）
- ・「池田大作・高占祥対談集『地球を結ぶ文化力』」出版発表会  
高占祥・中華文化促進会主席  
北京人民大会堂にて（2012年1月）

## 2. 新設の池田大作研究機関

- (1) 西安培華学院「池田大作・香峯子研究センター」設立（2011年9月）

センター長：馬樹茂・芸術学院副院長

研究方針：池田大作・香峯子の平和、文化、教育における行動と思想の研究。  
世界の平和的發展に貢献。

なお図書館には「池田大作文庫」を設置。

- (2) 大連工業大学「池田大作思想研究所」設立（2011年9月）

組織機構：顧問は趙亜平・大連中日教育文化交流協会会長、所長は周立・党副書記、副所長は劉愛君・国際教育学院副院長

設立趣旨：池田大作の思想・哲学の研究を通し、①高い人格と国際的視野を具えた人材の育成、②人文科学の發展と研究協力の強化、③教育文化交流による中日両国の相互理解と世界平和の促進を進めること。

研究テーマ：池田大作の「民間外交」、「平和文化思想」、「文学創作」。

- (3) 貴州大学「池田大作哲学研究所」設立決定（2012年1月）

組織機構：所長は張連順・宗教文化研究所所長、研究員は陶渝蘇・人文学部学部長、羅同兵・哲学科科長、胡嘉明副教授

研究テーマ（暫定）：池田大作の生命哲学、人間革命の哲理

## 3. 池田研究の成果等

孔繁豊（南開大学・周恩来研究センター前所長）、紀亜光（同センター前秘書長）が『周恩来、鄧穎超と池田大作』（南開大学出版社2011年4月）を出版した。

高丘倫（仲愷農業工程学院・廖承志と池田大作研究センター所長）、蔡立彬（同センター副所長）、蔡瑞燕（同センター副所長）が『廖承志と池田大作』（中央文献出版社2011年5月）を出版した。

中国文化大学「池田大作研究センター」（台湾）が「池田大作思想研究論文集」（第7号2011年5月）を出版した。

曲慶彪（遼寧師範大学・池田大作平和文化研究所長）と寺西宏友（創価大学副学長）が『池田大作との文明再生対話』（中国社会科学院2011年9月）を出版した。

南開大学「周恩来・池田大作研究会」が雑誌「金の橋」（第1期2011年11月）を発刊した。

また以下の池田研究に関する研究課題が、日中友好学術研究助成プログラムに採択された。その内、研究助成は、『法華経』の智慧と池田大作の人間教育思想の研究、「池田大作の人生哲学思想研究」、「21世紀における中国と池田大作の『女性文明観』研究」、出版助成は、「池田大作哲学思想体系の研究」、日本滞在研究助成は、「創価大学の周恩来研究」、「池田大作の創価理論体系の研究」である。